

建設部長の仕事宣言！

建設部長 詫 間 聡

1 基本姿勢（部の運営方針）

九州の陸路交通の要衝として発展してきた本市は、九州新幹線鹿児島ルート全線開業により、新鳥栖駅周辺には、九州国際重粒子線がん治療センターの開業、また、J1サガン鳥栖の活躍により、遠方からも多くの人が集まることから、交通拠点としての整備、交流拠点としてのまちづくりが重要になり、その実現に向けて様々な施策に取り組まなければなりません。

本市は、交通の要衝として発展してきましたが、幹線道路は交通容量が不足しており、市街地や生活道路への通過交通の流入も増加し、生活環境や交通安全の悪化が懸念される状況にあります。

このため、「第6次鳥栖市総合計画」での鳥栖市の将来都市像として「住みたくなるまち鳥栖」となるためには、市民の皆様や来訪者の方々が「安全・安心・快適」に通行できる道路施策に取り組まなければなりません。

- 主要幹線道路であります国道・県道の効果的・効率的整備を関係機関と一体となって整備推進に取り組みます。
- 市民にもっとも身近な生活道路や小学校通学路の交通安全対策に重点をおいた取り組みを進めてまいります。
- 市民が集い交流する場所である、公園・緑地が快適に利用できる環境づくりに取り組みます。

2 重点事業の概要（リープロ11）

●リープロ11の名称〔安全・安心・快適な道路づくりプロジェクト〕

〔5年後の姿〕

歩行者と自動車を分離する通行帯の整備により、市民や来訪者の方々も、風景を楽しみながら安心して散策しています。また、ドライバーは幹線道路が整備されたことにより、交通渋滞が解消され、目的地へ快適に向かっています。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・生活道路の整備を行います。〔建設課〕
- ・国道・県道の整備を進めます。〔国道・交通対策課〕
- ・機能を重視した効率的な道路整備を進めます。〔国道・交通対策課〕
- ・まちづくりの拠点としての利便性の向上を図ります。〔国道・交通対策課〕

3 重点事業の具体的取組内容（リープロ 11）

○リープロ 11 の名称〔安全・安心・快適な道路づくりプロジェクト〕

- ・道路新設改良事業
- ・長期未着手都市計画道路の見直し

○指標

1 生活道路の整備

① 道路新設改良（4路線 L=2,322m）	H22年度末	90m（4%）
	H25年度末	2,162m（93%）
	H27年度末	2,322m（100%）

2 機能を重視した効率的な整備

② 長期未着手都市計画道路の見直し	H22年度末	70.5 km
	H25年度末	65.7 km
	H27年度末	64.7 km

○平成26年度に具体的に何をしていくのか

① 道路新設改良

歩行者・自転車の「安全・安心・快適」な通行帯の確保のため、事業用地の関係者のご理解とご協力をお願いし、事業推進を図っていきます。また、2路線とも幹線道路との交差点改良工事となるため、国・県など関係機関と協議・調整を行い整備を進めます。

通学中の児童の安全を確保するため、各小学校周辺の通学路を主体とした道路状況調査を行い、小学校周辺交通安全整備計画の策定を行います。

② 長期未着手都市計画道路の見直し

都市計画道路見直し計画により、計画変更となった区間を関係機関と協議を進め、住民説明会・都市計画審議会（市・県）等を開催し、見直しの手続きを進めていきます。